

NEWS RELEASE

第59回 おきぎん企業動向調査  
2015年1～3月期 調査結果

2015年3月25日 (4月24日改訂)

担当: 高良

問い合わせ: TEL098-869-8711 FAX098-869-2200

—現場主義とお客さまからの信頼—

## 【おきぎんDIについて】

●主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、各割合を表したものです(本レポートでは「悪化・低下・減少」はマイナス表示を使用)。

●「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

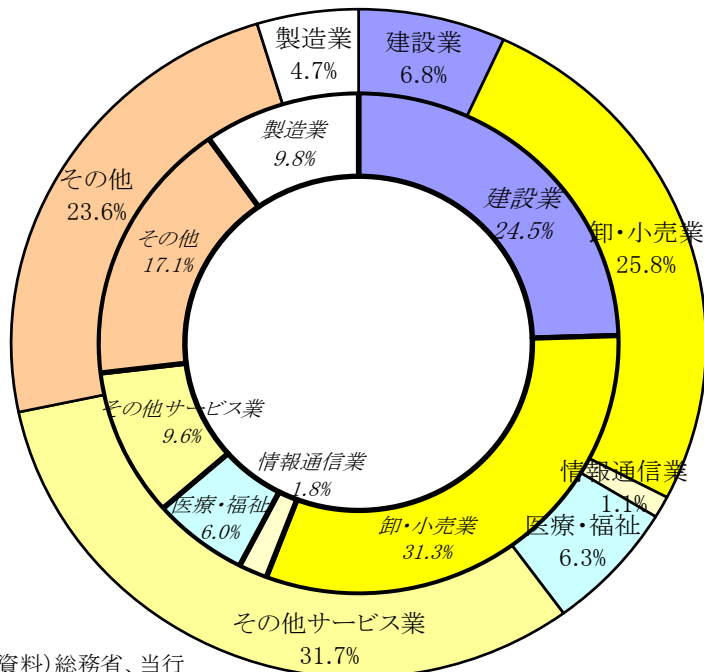
●DI(景気動向指数) = 「好転・上昇・増加」の割合(%) - 「悪化・低下・減少」の割合(%)

●従ってDIがプラス⇒景気が良い(または上昇見込み)、マイナス⇒悪い(または下降見込み)とご覧いただけます。

## 【調査の概要】

質問内容	①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価 ⑤採算 ⑥引き合い(問い合わせ等) ⑦雇用 ⑧設備・その他投資需要(第51回調査までの「IT投資関連」と「その他の投資」を統合)
対象	2015年2月下旬～3月上旬に調査実施、502社回答。

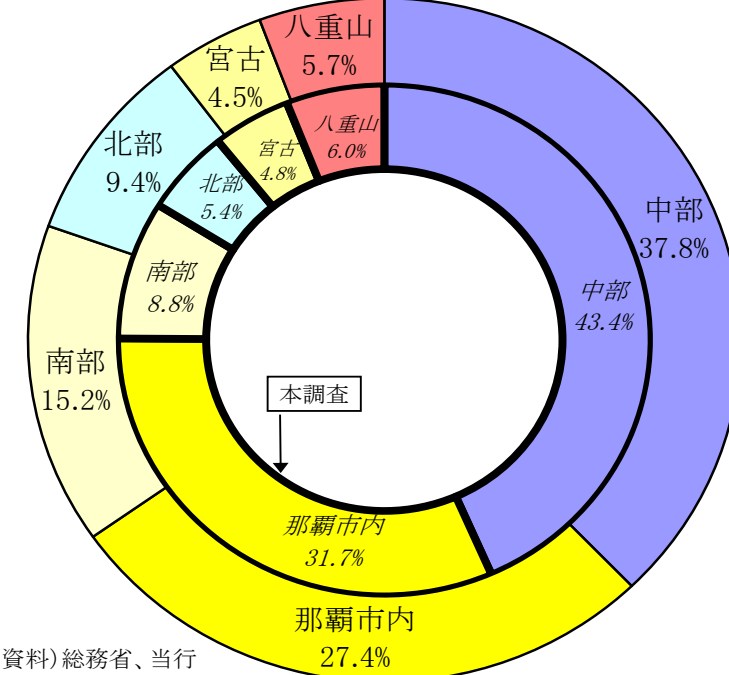
【業種構成 (外円:県内 内円:本調査)】



3/25/2015

資料)総務省、当行

【所在地構成 (外円:県内、内円:本調査)】



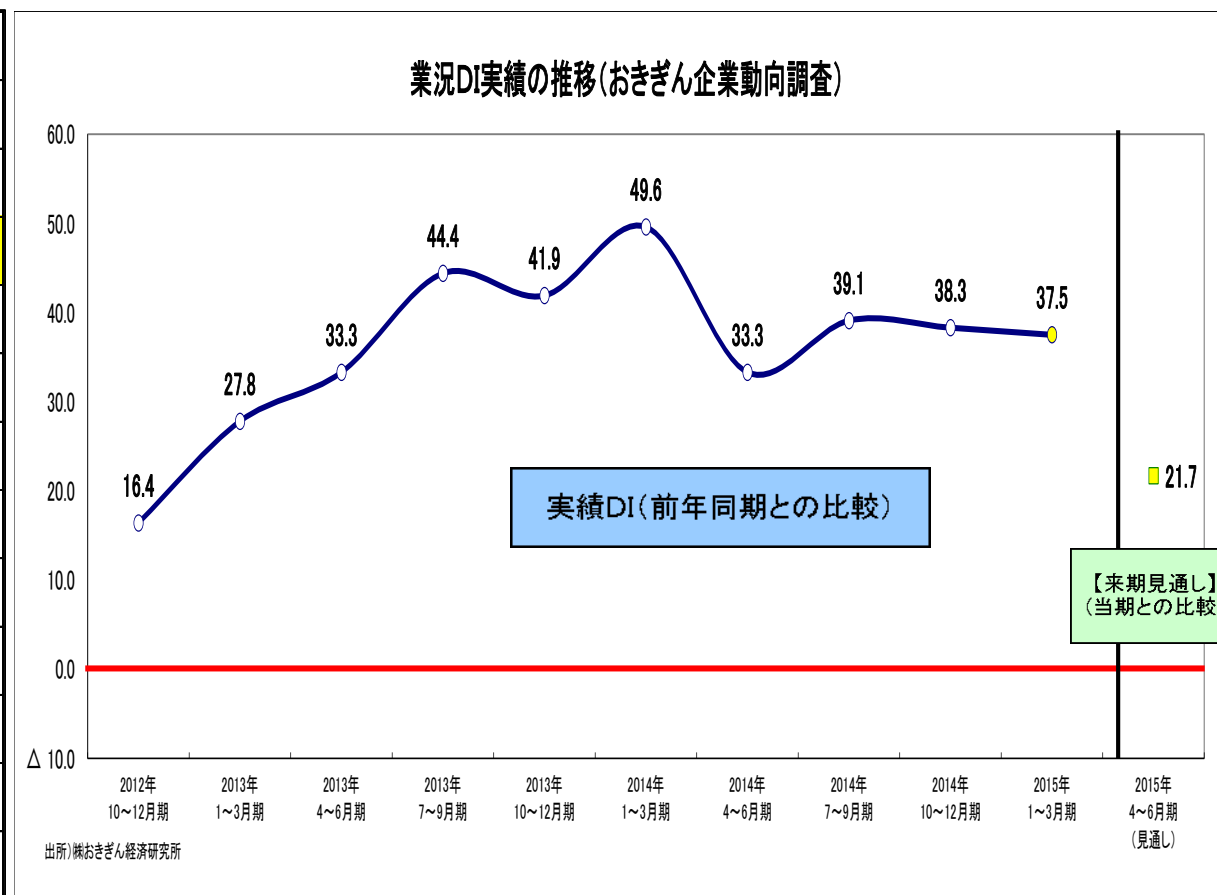
資料)総務省、当行

おきぎん経済研究所

# 【調査結果①業況DIの推移】

- 2015年1～3月期の業況DIは37.5(前年同期比)となり、全業種で業況改善の動きがみられます。
- 2015年4～6月期の業況見通しDIは21.7(2015年1～3月期比)となり、全業種で業況改善が見込まれます。

【業況DIの推移】	2014年				2015年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期(見通し)
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI
<b>全業種計</b>	<b>49.6</b>	<b>33.3</b>	<b>39.1</b>	<b>38.3</b>	<b>37.5</b>	<b>21.7</b>
製造業	52.6	26.5	26.7	28.6	34.7	32.7
土木業	45.0	34.8	60.0	55.6	42.9	4.8
建築業	67.4	46.7	35.1	47.1	43.1	20.6
卸売業	35.3	30.2	25.0	38.2	27.9	30.2
小売業	41.7	13.8	30.3	22.2	22.5	26.8
情報通信サービス業	60.0	37.5	40.0	25.0	44.4	26.7
医療・福祉	22.2	29.2	48.4	20.0	26.7	0.0
その他サービス業(宿泊・飲食等)	53.8	33.9	58.5	50.0	56.3	27.1
その他(不動産、運輸等)	55.1	43.5	48.3	44.7	45.3	12.8



# 【調査結果②主な業種の動向】

	当期(2015年1～3月期)	来期(2015年4～6月)
DI	37.5	21.7
観光関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国内外からの観光需要 ⇒旅行代理店、宿泊業、飲食業、ゴルフ場、レンタカー会社、コインパーキング、タクシー業者などで、売上高、引き合い、採算が改善。</li> <li>●外国人観光客(中国、アジア系)の増加 ⇒特にマリンスポーツ(ダイビング、ホエールウォッチング)などで、売上高、引き合いが大きく増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国内外からの観光需要(GWなど)⇒冬場より観光客が増加するため、業況改善の見込み。</li> <li>●大型商業施設開店に伴う引き合いの増加⇒一部の飲食業では新規取引、新規出店などにより業況改善の見込み。</li> </ul>
建設関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>●建設関連⇒公共工事の受注増加や追加工事受注などから売上高、引き合いが改善。</li> <li>●資材価格、人件費高騰(含外注費用)⇒一部で工期遅延などから採算が悪化している事業者がみられた。</li> <li>●原油安⇒重機、車輛などの燃料費削減から、好材料との見方が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●建設関連⇒公共工事の受注増加見込み。一方で、一部では民間工事の受注減少を予想する見方もあった。</li> <li>●資材価格、人件費高騰(含外注費用)⇒引き続き、懸念材料だが、一部では受注の落ち着きに伴い人手不足が解消されるとの見方があった。</li> <li>●原油安⇒引き続き、好材料との見方が多い。</li> </ul>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●消費増税に伴う駆け込み需要の反動減⇒全般的にみられ、一部の事業者では売上高、採算が減少。</li> <li>●原油安⇒ガソリン小売業などでは仕入単価、売上単価が減少。</li> <li>●観光関連⇒土産品販売業などで、売上高が増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●季節要因(新年度、入学式、転勤など)⇒百貨店、自動車販売、家電品、衣料品販売などで売上高、採算が改善する見込み。</li> <li>●原油価格動向⇒原油価格が上昇すると、ガソリン小売業などで売上高、採算の悪化を懸念。</li> <li>●GWなどの観光需要⇒国内外観光客の増加や新規出店効果などにより、売上高採算が改善する見込み。</li> </ul>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●原油安⇒建築資材関連で仕入単価が減少。</li> <li>●円安⇒全般的に仕入単価が上昇。一部は売上単価に転嫁するものの、一部の事業者では採算が悪化。</li> <li>●消費増税に伴う駆け込み需要の反動減⇒売上高、採算などが悪化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●原油安⇒引き続き、建築資材関連で仕入単価の減少を見込む。</li> <li>●円安⇒引き続き、全般的な仕入単価の上昇を見込む。売上単価への転嫁次第で、採算へ影響するため先行きに慎重な見方もあった。</li> </ul>

# 【調査結果③当期の業況】DIは37.5となり、全体としては業況改善の動きがみられます。

## 項目別

●売上高、引き合いが増加するなど、全項目で改善しています。

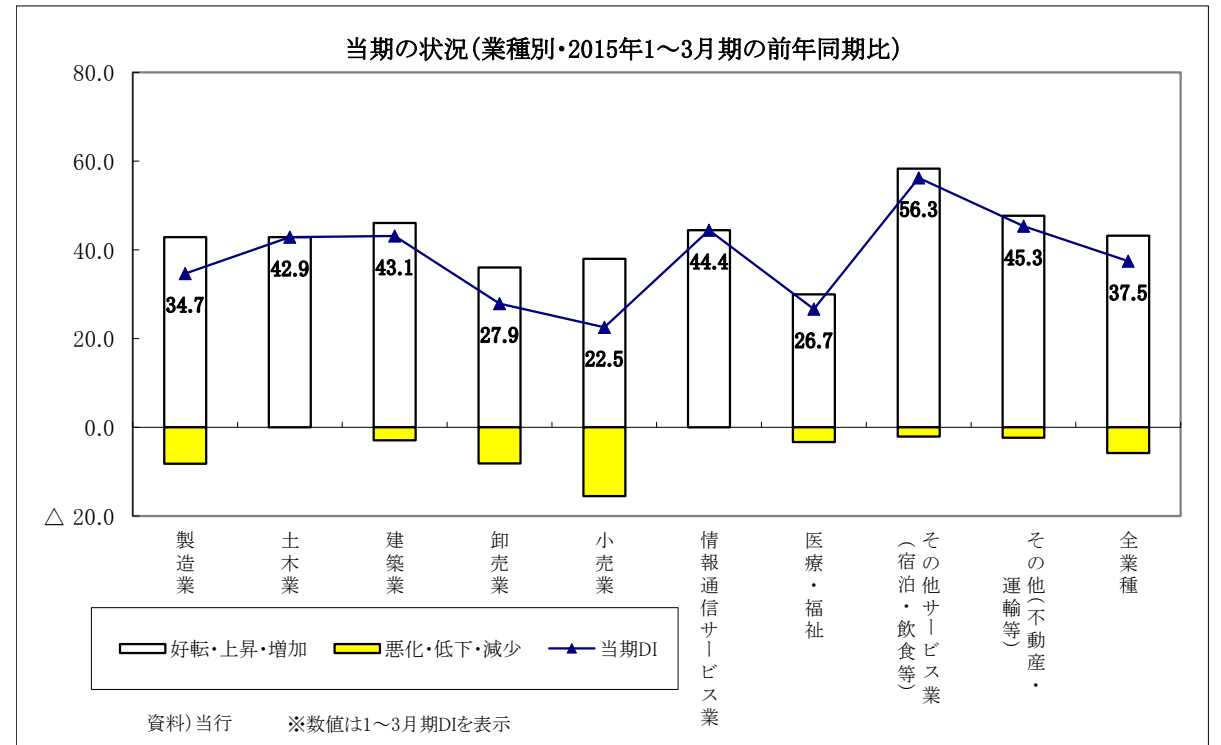
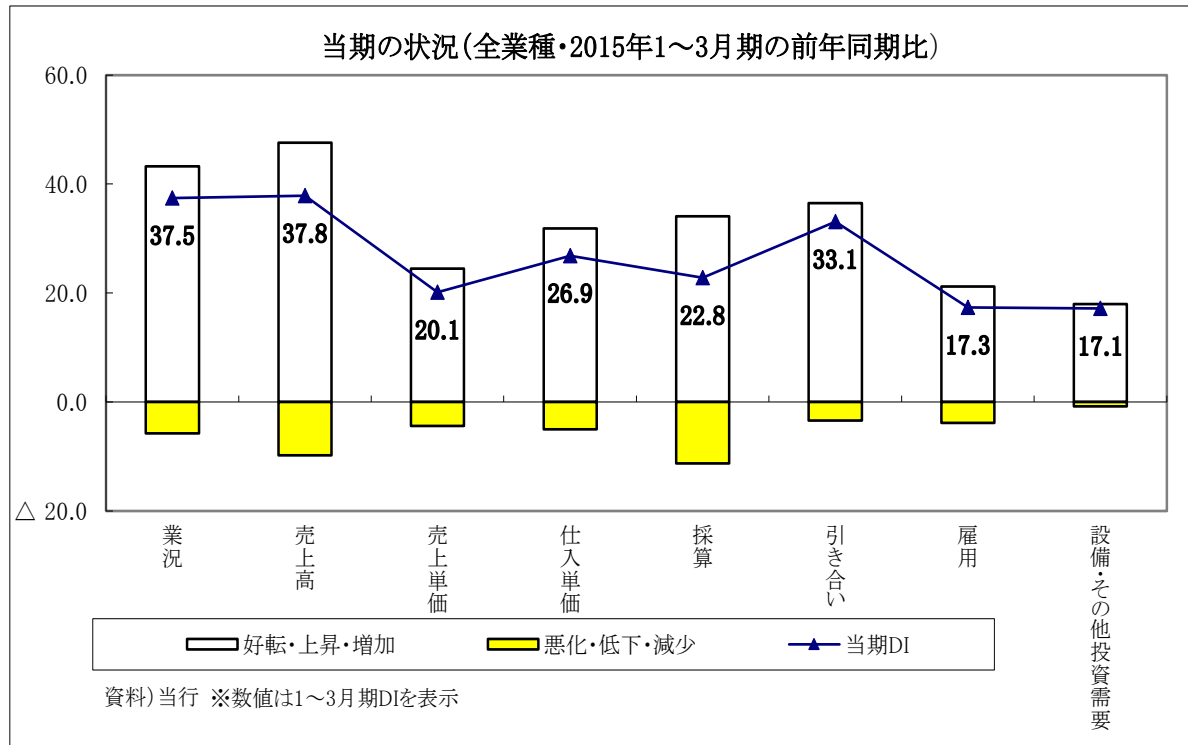
●一方で、円安や原材料高騰などにより、一部の業種で仕入単価が上昇しています。

## 業種別

●小売業、卸売業などで消費税増税前の駆け込み需要の反動減がみられます。

●観光需要(プロ野球キャンプ、春節など)からその他サービス業を中心に業況改善がみられます。

●建設関連(土木業、建築業、その他)では公共工事の増加により業況改善がみられます。



# 【調査結果④来期の業況見通し】DIは21.7となり、全体としては業況改善が見込まれます。

## 項目別

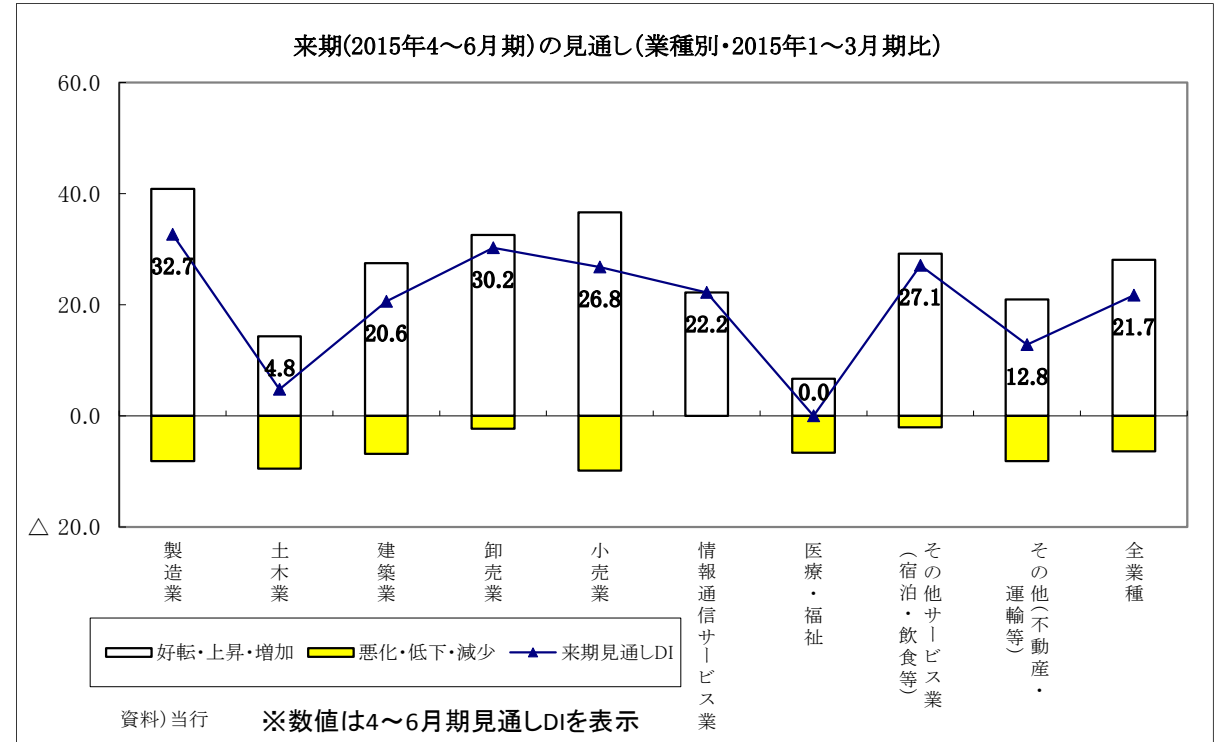
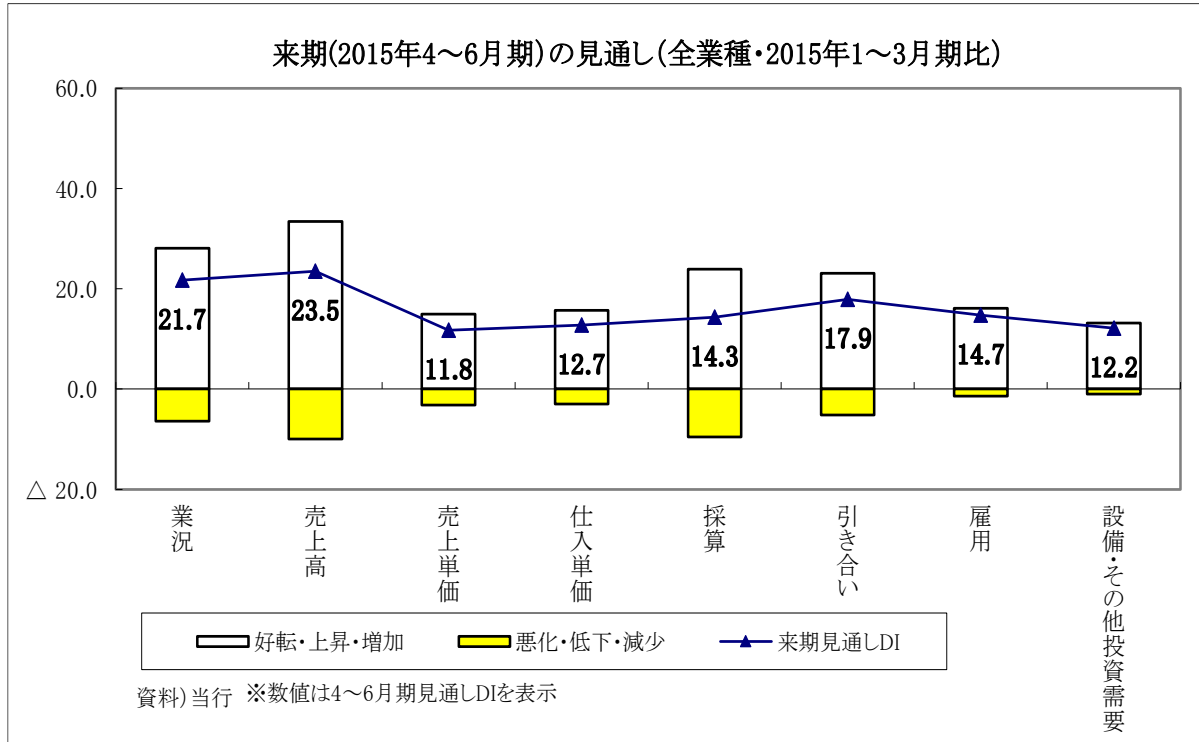
●引き続き、公共工事の受注増加や観光需要の増加などにより、堅調に推移することが予想されます。

●仕入単価、採算に影響するため、円安や原油価格動向などを注視するとの見方が多く見受けられます。

## 業種別

●GWなどの観光需要から、その他サービス業を中心に業況の改善が見込まれます。

●公共工事の増加により建設関連(土木業、建築業、その他)などで、業況の改善が見込まれます。



# 【調査結果⑤地域別の業況】は幅広い地域で業況改善の動きがみられます。

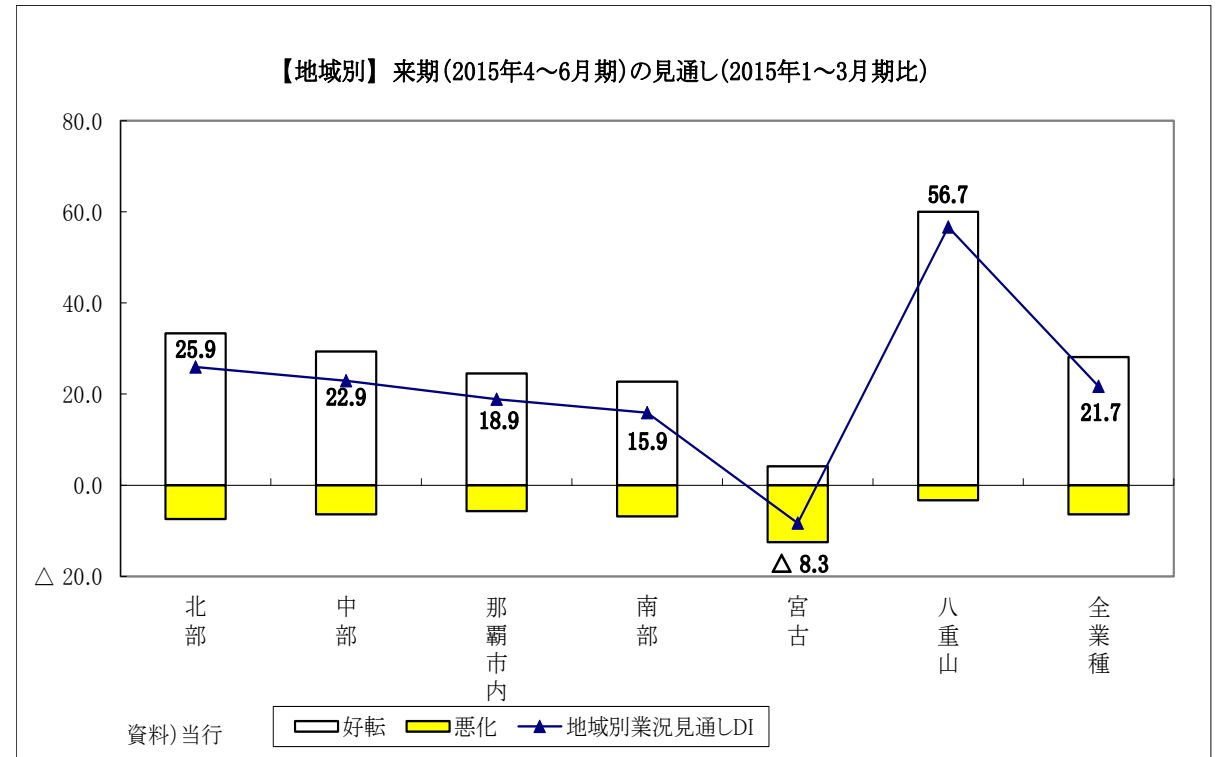
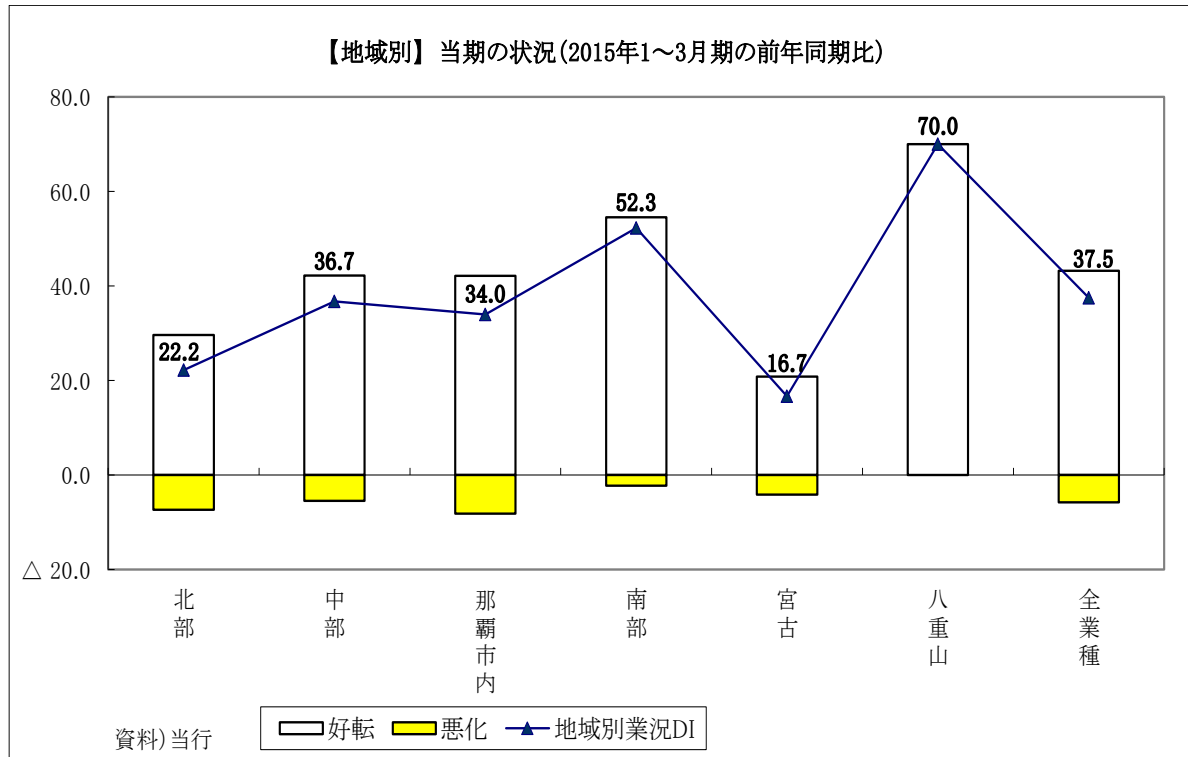
## 当期

●八重山地区では新石垣空港開港効果の継続や、クルーズ船の寄港回数増加により業況が改善しています。

## 来期

●八重山地区では引き続き、観光需要を中心に業況の改善が見込まれます。

●宮古地区では伊良部大橋建設に伴う工事需要が落ち着き、建設関連などで業況の悪化が見込まれます。



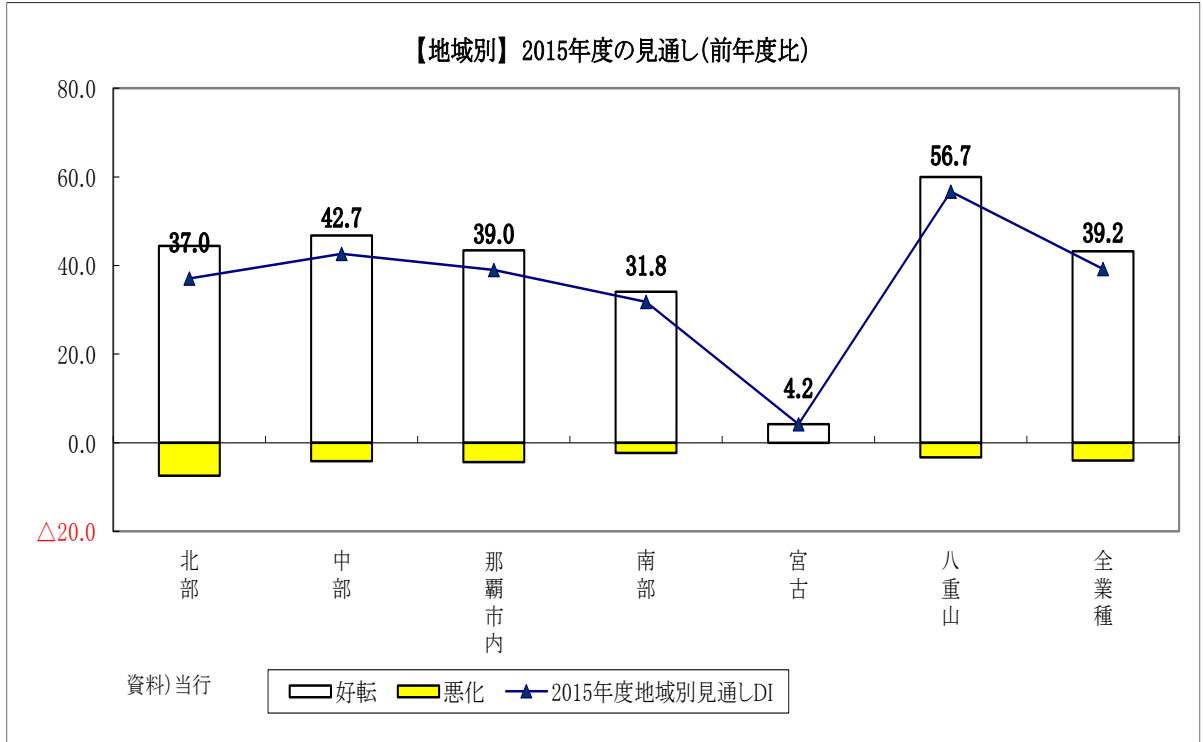
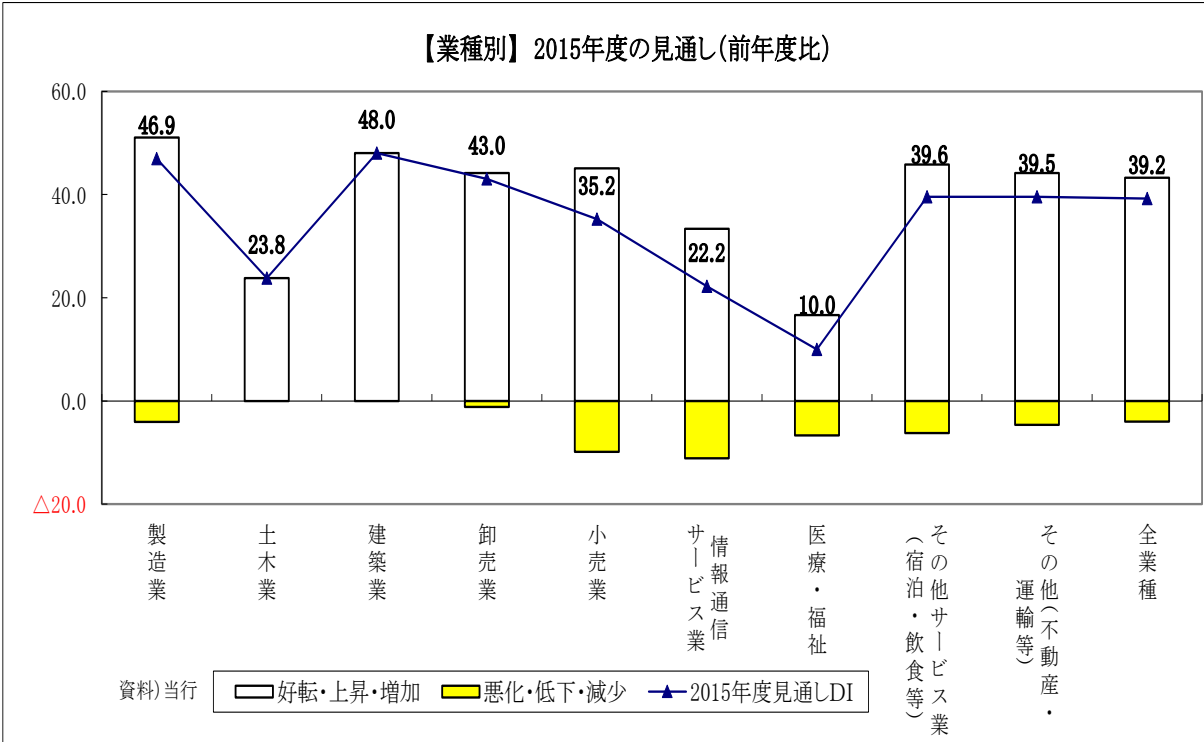
**【調査結果⑥2015年度見通し(2014年度比)】DIは39.2となり、全業種・全地域で業況改善が見込まれます。**

**業種別**

- 観光関連(その他サービス業、小売業、卸売業など)では国内外観光客の増加が予想され、業況改善が見込まれます。
- 建設関連(土木業、建築業など)では公共、民間工事の受注増加などから業況改善が見込まれます。
- 幅広い業種で雇用の不足感が続くとの声が聞かれます。

**地域別**

- 本島地区では建設関連(公共工事の受注増加)や小売業、卸売業(大型商業施設開店に伴う販路拡大など)をはじめ業況改善が見込まれます。
- 宮古、八重山地区では観光需要(宮古:伊良部大橋開通効果、八重山:新空港開港やクルーズ船寄港効果)が期待されます。一方、離島路線の減便により先行きに慎重な見方もあります。





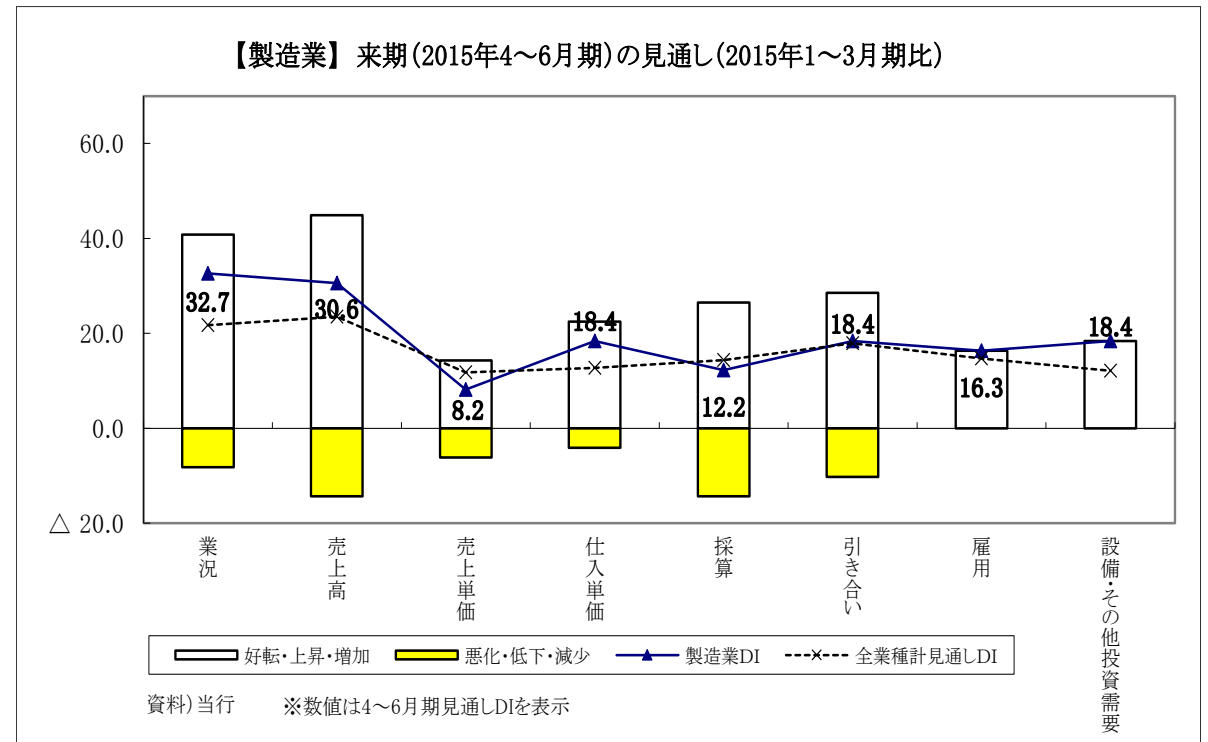
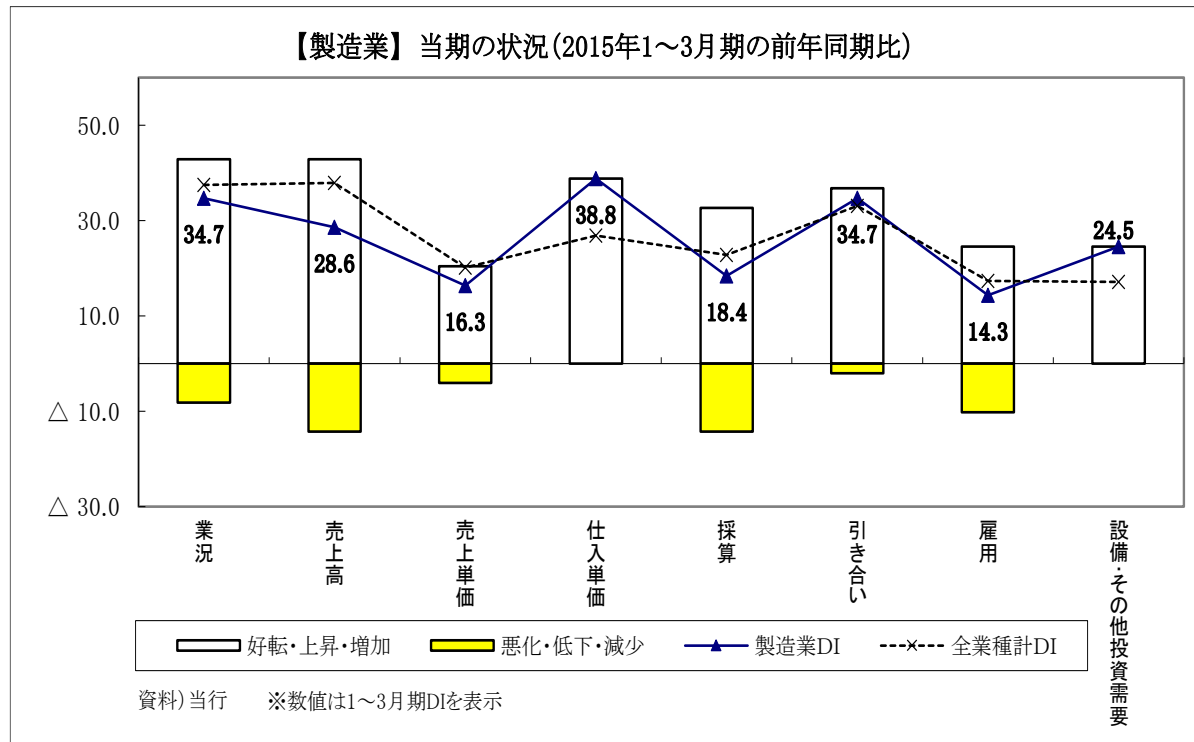
# 【製造業】DIは当期34.7、来期32.7となり、全体としては業況改善の動きがみられます。

## 当期

- 観光関連では菓子製造業などで売上高、引き合い、採算が改善しています。
- 原油安については、経費削減につながることから好材料との見方がみられます。
- 原材料価格高騰については、食品製造業などで仕入単価が上昇しています。一方で、競合から商品価格への反映には慎重な事業者もみられます。

## 来期

- 観光関連では大型商業施設開店に伴い、出店企業への販路拡大から売上高、引き合いの改善が見込まれます。
- 原油安については、引き続き、好材料との見方がみられます。
- 原材料価格高騰については、引き続き、仕入単価の上昇を懸念する声が聞かれます。



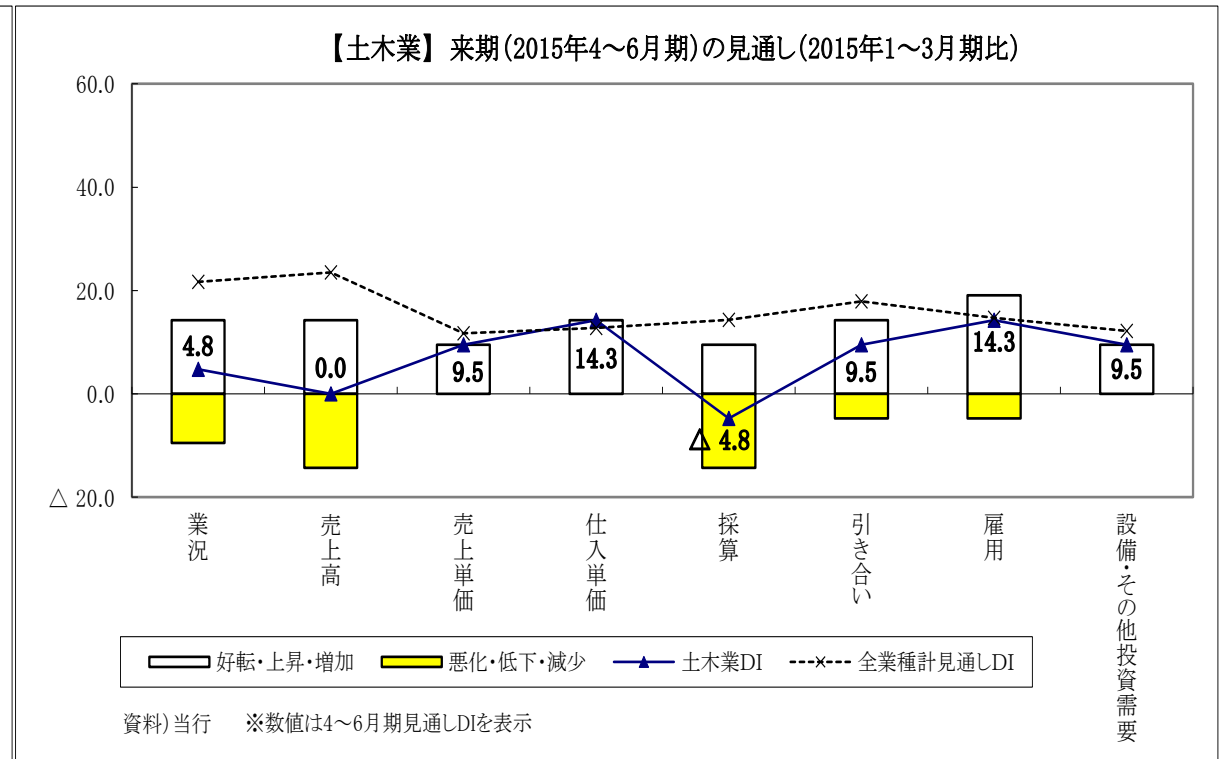
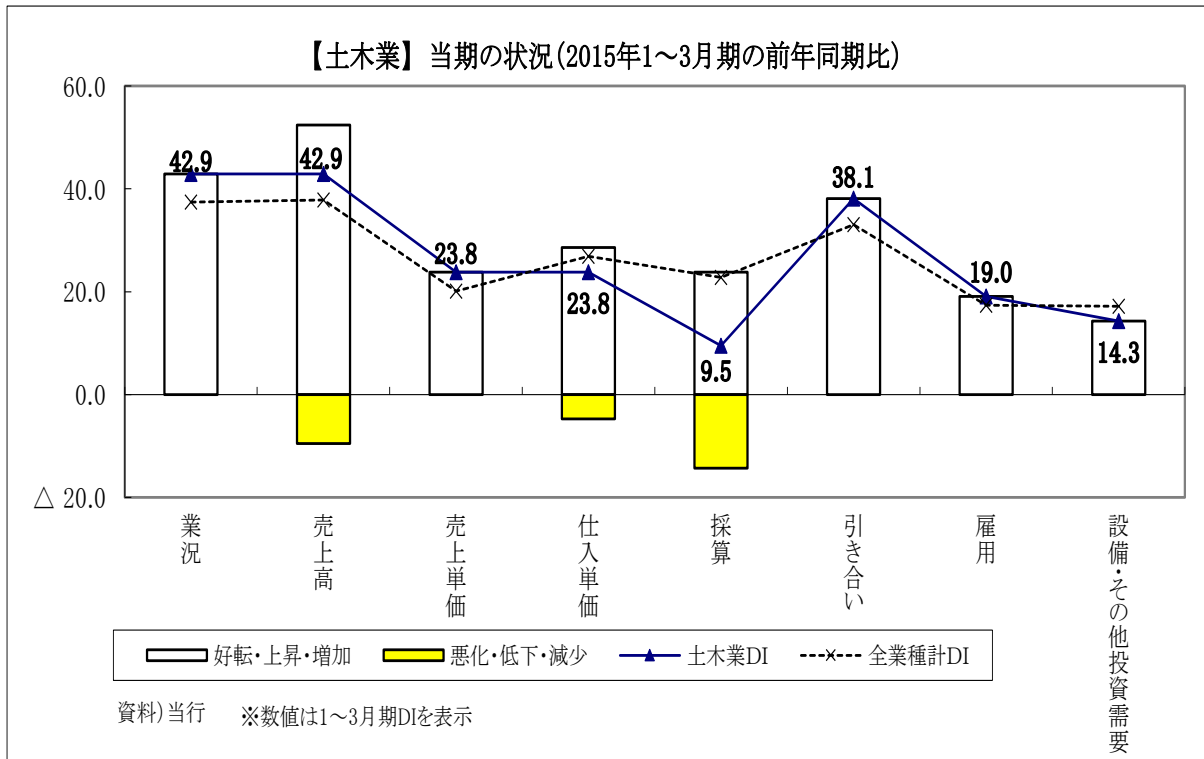
# 【土木業】DIは当期42.9、来期4.8となり、全体としては業況改善の動きがみられます。

## 当期

- 建設関連では公共工事の受注増加や追加工事受注などから売上高、引き合いが改善しています。
- 資材価格、人件費高騰(含外注費用)については、工期遅延や採算が悪化している事業者が一部で見られます。
- 原油安については、重機、車輛などの燃料費削減につながり、好材料とみられています。

## 来期

- 建設関連では公共工事の受注増加が見込まれます。
- 資材価格、人件費高騰(含外注費用)については、引き続き、懸念材料とみられています。
- 原油安については、引き続き、好材料とみられています。



# 【建築業】DIは当期43.1、来期20.6となり、全体としては業況改善の動きがみられます。

## 当期

●職人不足については雇用募集するものの、不足感が続いています。一部では、外注費増加や工期遅延により採算が悪化している事業者がみられます。

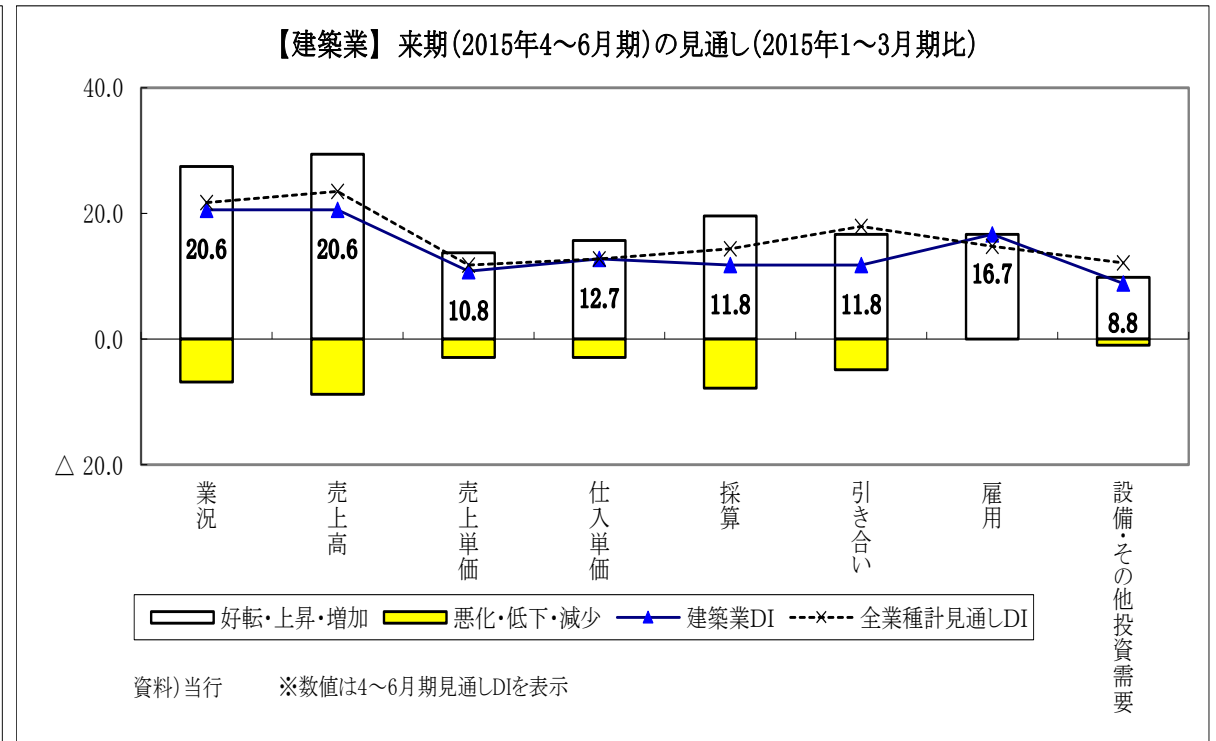
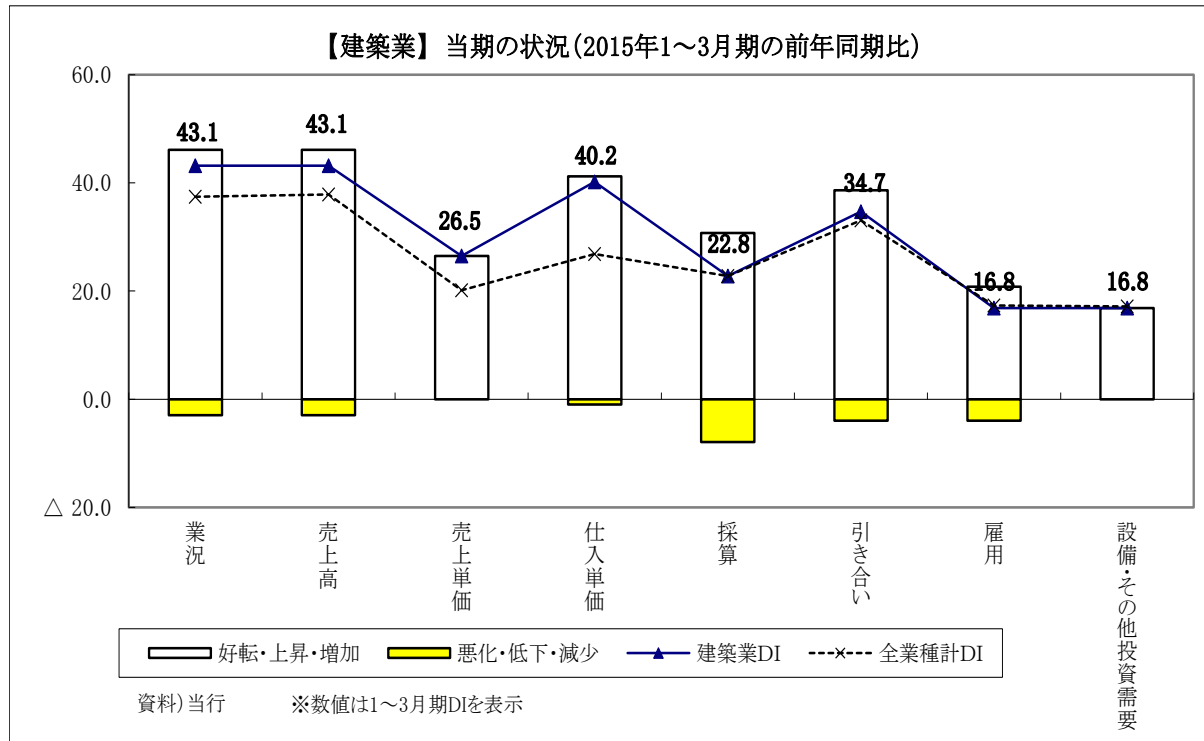
●公共、民間工事の増加に伴い、売上高・引き合いが改善しています。一方、一部では原材料高騰による仕入単価上昇や人件費高騰などから採算悪化となる事業者もみられます。

## 来期

●建設関連では公共工事の受注増加が見込まれます。一方、一部では民間工事の受注の落ち着きを予想する声もあります。

●資材価格、人件費高騰(外注費用含む)については、引き続き、懸念材料ですが、一部では受注の落ち着きに伴い人手不足が解消されるとの声があります。

●引き続き、原油動向を注視している事業者が多くみられます。



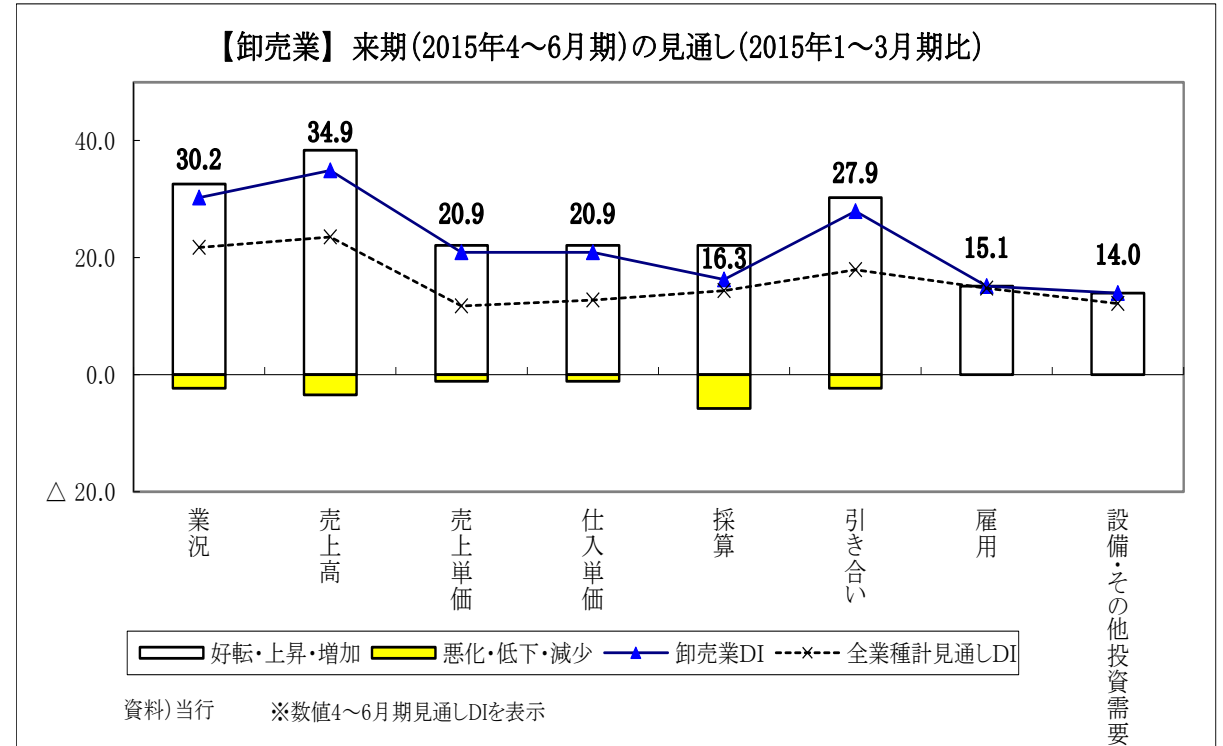
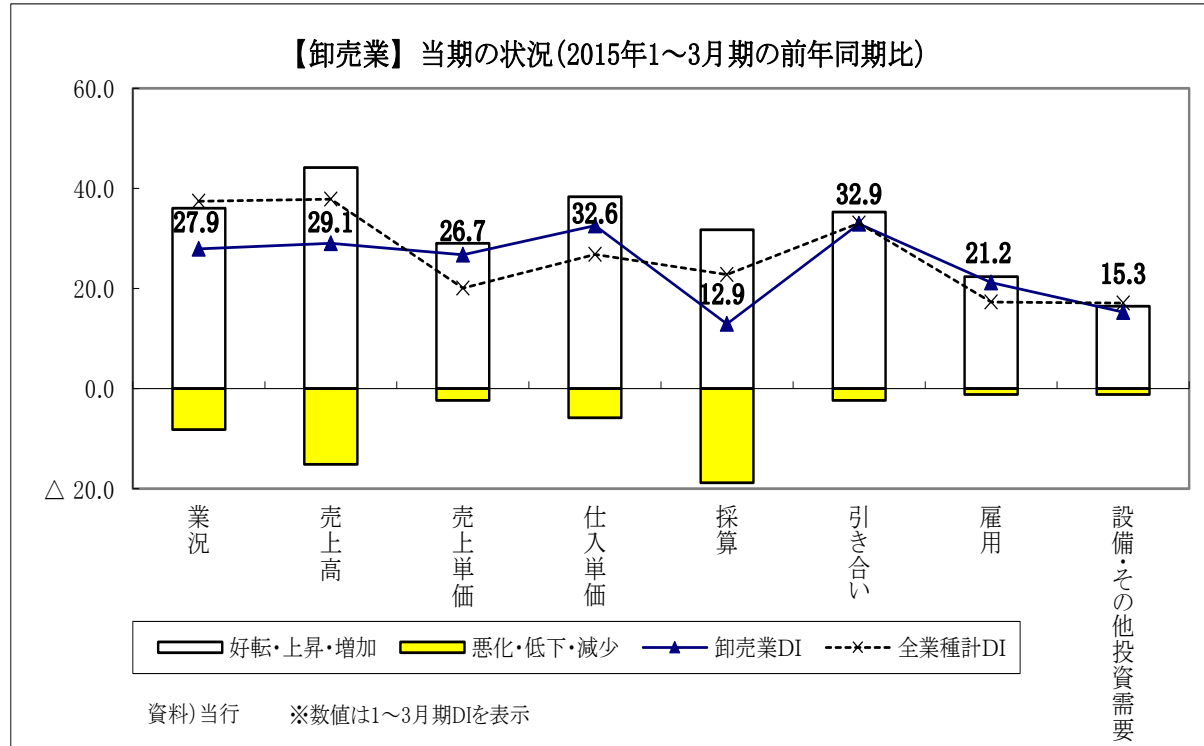
# 【卸売業】DIは当期27.9、来期30.2となり、全体としては業況改善の動きがみられます。

## 当期

- 原油安については、建築資材関連で仕入単価が減少している事業者も一部みられます。
- 円安については、全般的に仕入単価が上昇しています。一部では売上単価に転嫁できず、採算が悪化している事業者もみられます。
- 消費増税に伴う駆け込み需要の反動減などから、売上高、採算などが悪化している事業者も一部みられます。

## 来期

- 原油安については引き続き、仕入単価の減少を見込む事業者が一部みられます。
- 円安については引き続き、仕入単価の上昇要因と見込む事業者が多くみられます。一部では、売上単価への転嫁が厳しく、採算への影響を懸念する声も聞かれます。



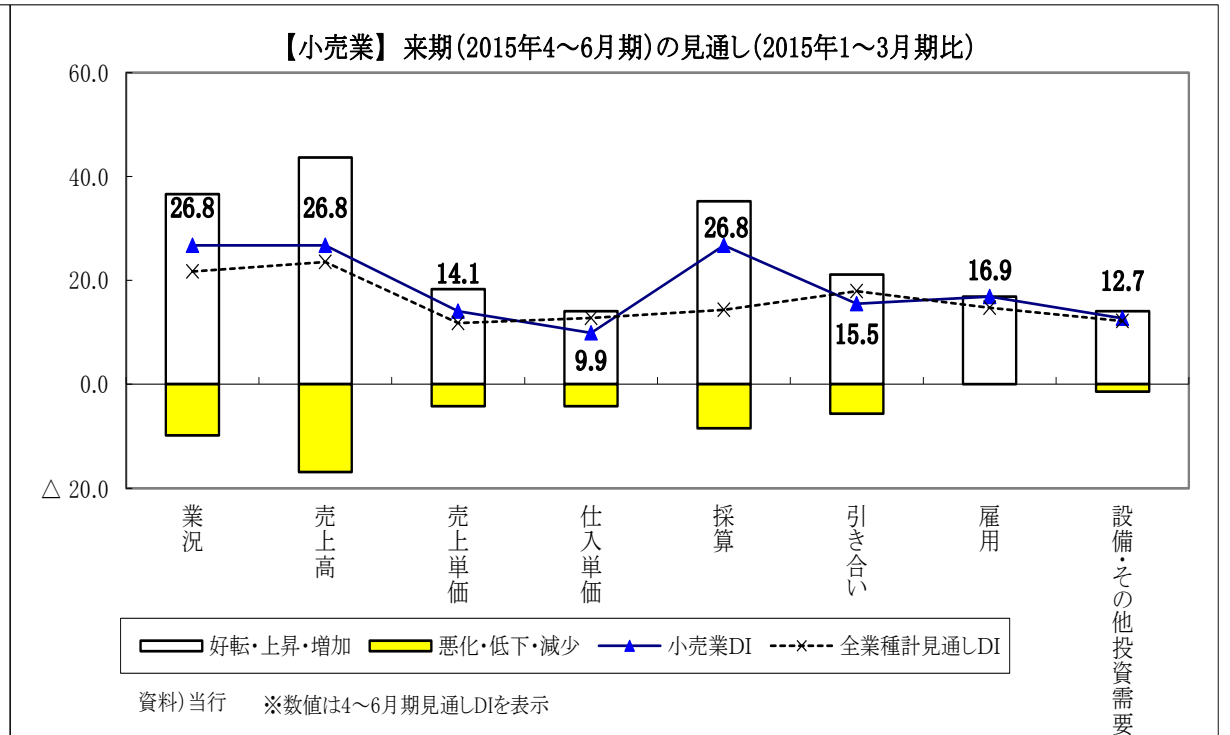
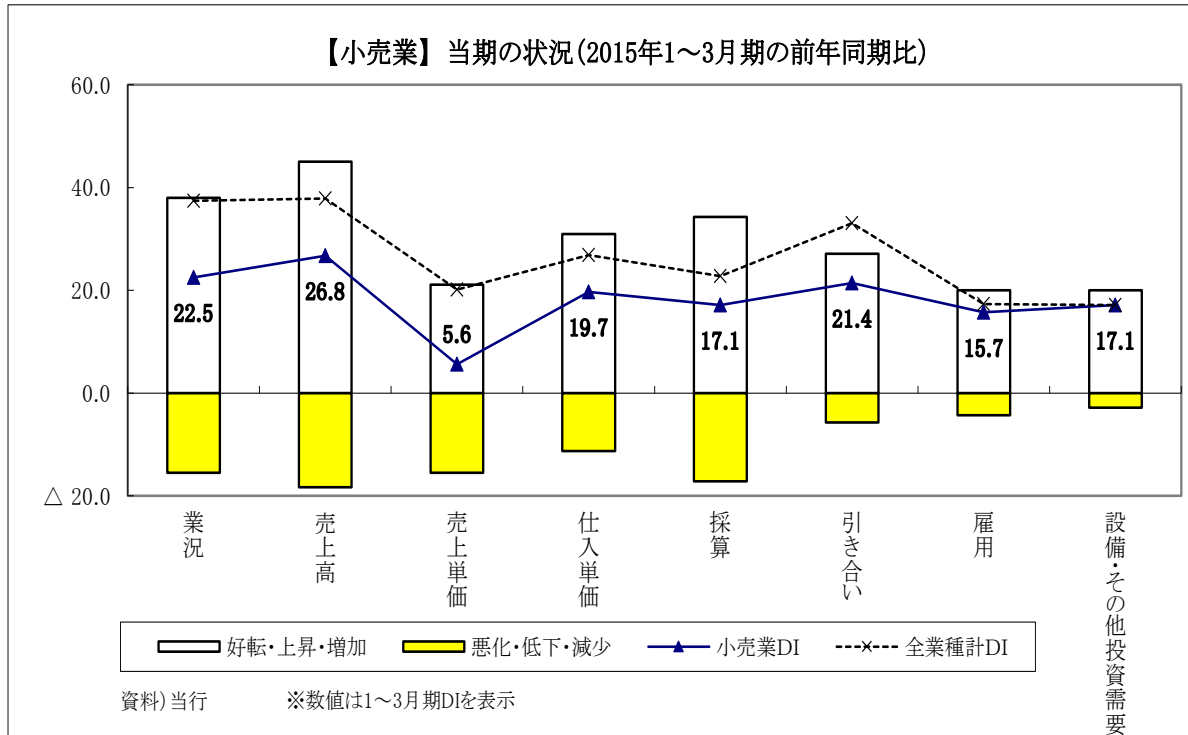
# 【小売業】DIは当期22.5、来期26.8となり、全体としては業況改善の動きがみられます。

## 当期

- 業況・売上高などが改善していますが、一部では消費増税に伴う駆け込み需要の反動減がみられます。
- 一部、ガソリン小売業などで原油安に伴う仕入単価、売上単価の減少がみられます。
- 観光関連では土産品販売業などで、売上高、採算の改善が見られます。

## 来期

- 季節要因(新年度、入学式、転勤など)として百貨店、自動車販売、家電品、衣料品販売などで売上高、採算が改善することが見込まれます。
- 一部、ガソリン小売業などで原油価格動向に伴い、売上高、採算の悪化を予想する事業者もみられます。
- GWなどの観光需要として国内外観光客の増加や新規出店などにより、売上高、採算の改善が見込まれます。



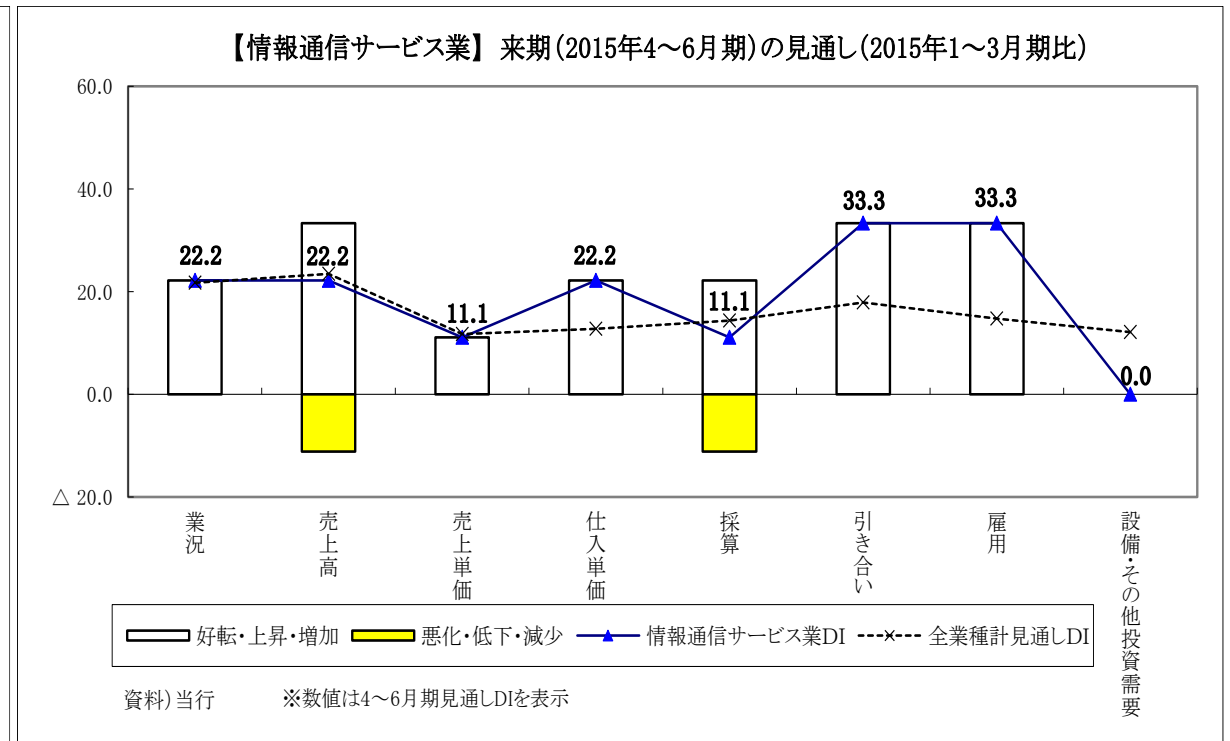
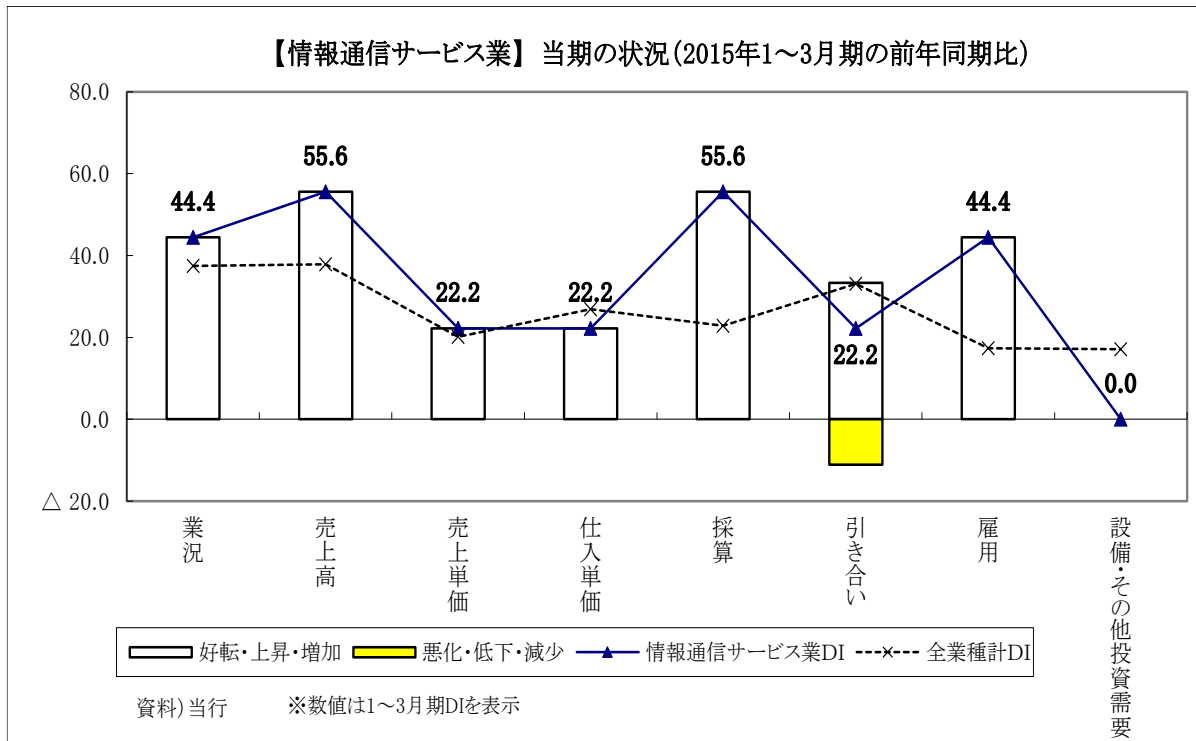
# 【情報通信サービス業】DIは当期44.4、来期22.2となり、全体としては業況改善の動きがみられます。

## 当期

- 公共工事関連では防災システム販売事業などにおいて売上高が増加しています。
- ITシステム投資関連ではソフトウェア開発事業などで、売上高、引き合い、採算の改善がみられます。
- 求人募集広告業では雇用需要の増加がみられます。

## 来期

- 公共工事関連では当期からの反動減により売上高、採算の悪化を見込む事業者が一部でみられます。
- ITシステム投資関連では、引き続き売上高、引き合い、採算の改善が見込まれます。
- 求人募集広告業では引き続き、雇用需要の増加が見込まれます。





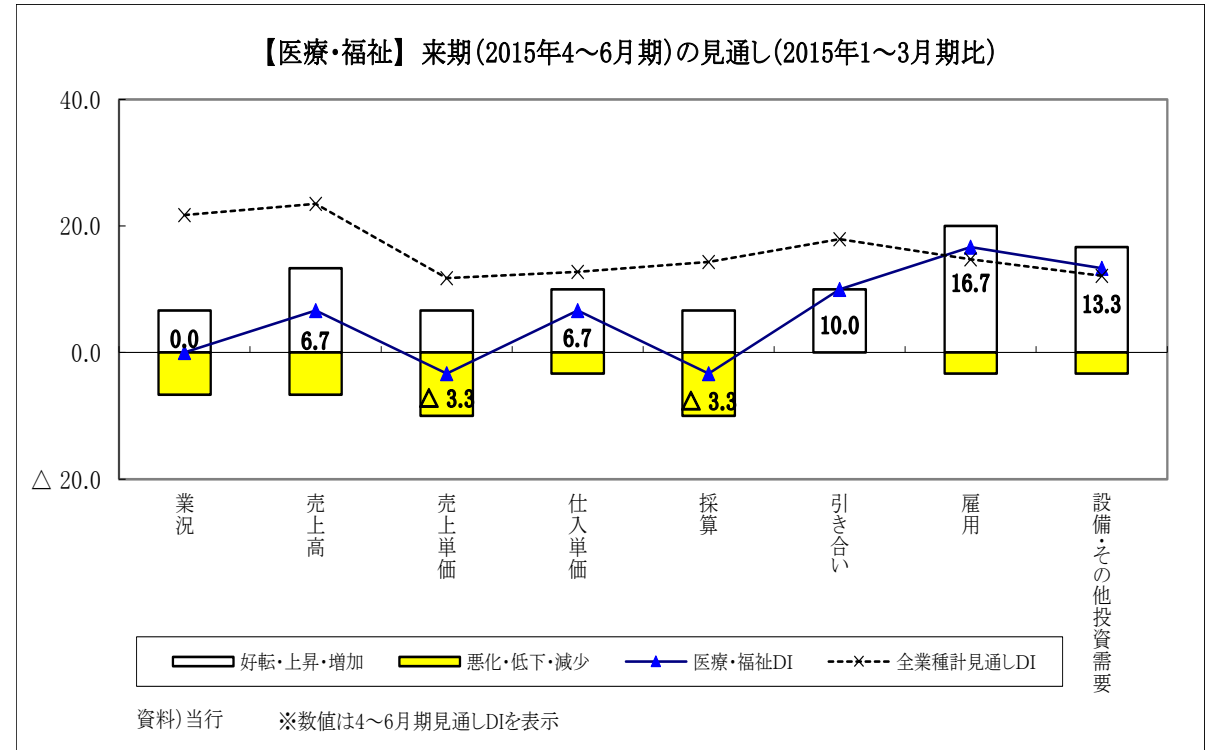
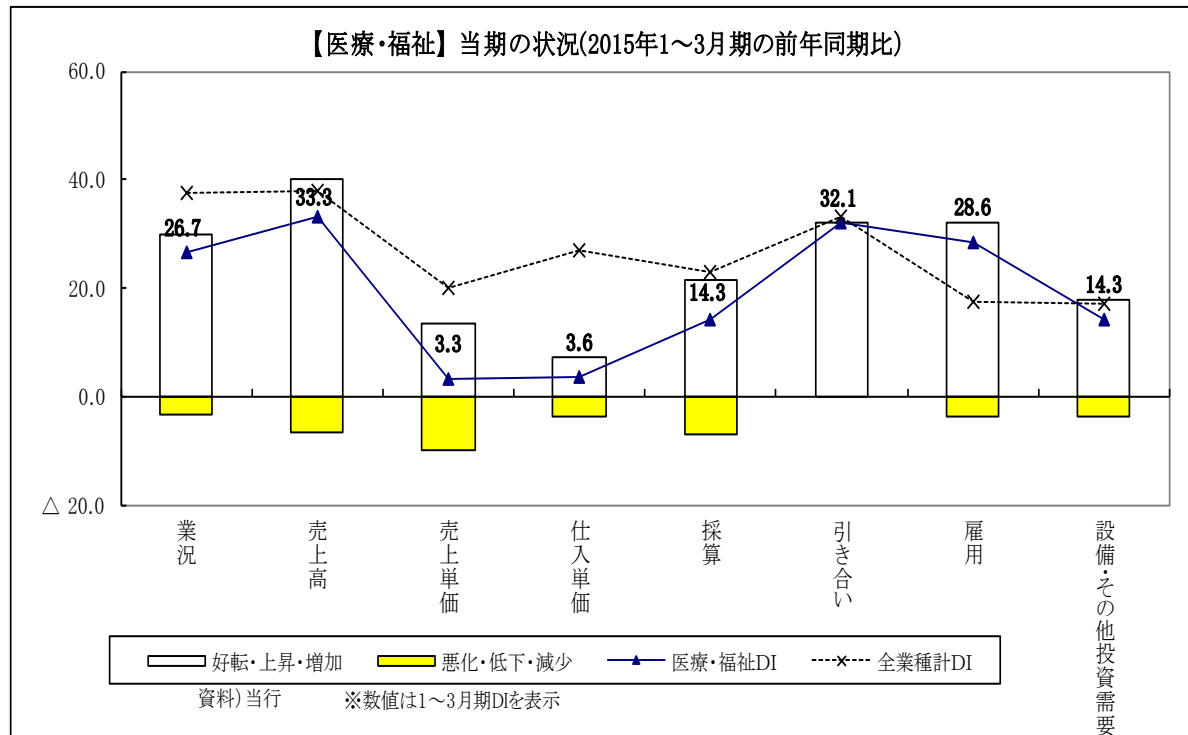
# 【医療・福祉】DIは当期26.7と業況改善の動き、来期は0.0と業況の横ばいが見込まれます。

## 当期

- 季節的要因(外来患者増加、インフルエンザの流行)として売上高・引き合いが増加しています。
- 介護関連施設の改装や新規開院効果については、稼働率が好調に推移し、売上高、引き合い、採算が改善しています。
- 介護報酬改訂やジェネリック医薬品推進については一部の事業者で、売上単価の減少がみられます。

## 来期

- 雇用については専門学校卒業者の需要増加が見込まれます。
- 季節的要因として、例年、患者数が減少する時期であることから、売上高、売上単価、採算の悪化が見込まれます。
- 設備投資や新規開院については一部の事業者で、売上高、採算の改善が見込まれます。



# 【その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、結婚式場、教育関連等)】

DIは当期56.3、来期27.1となり、業況改善の動きがみられます。

## 当期

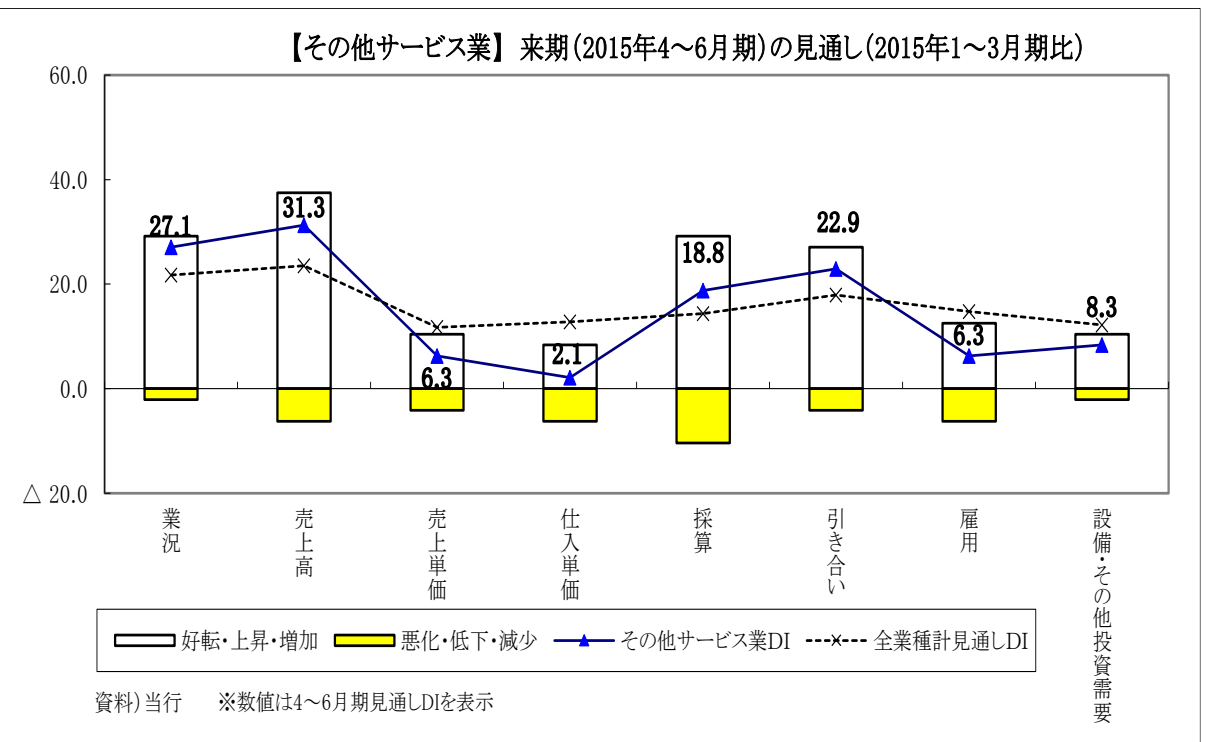
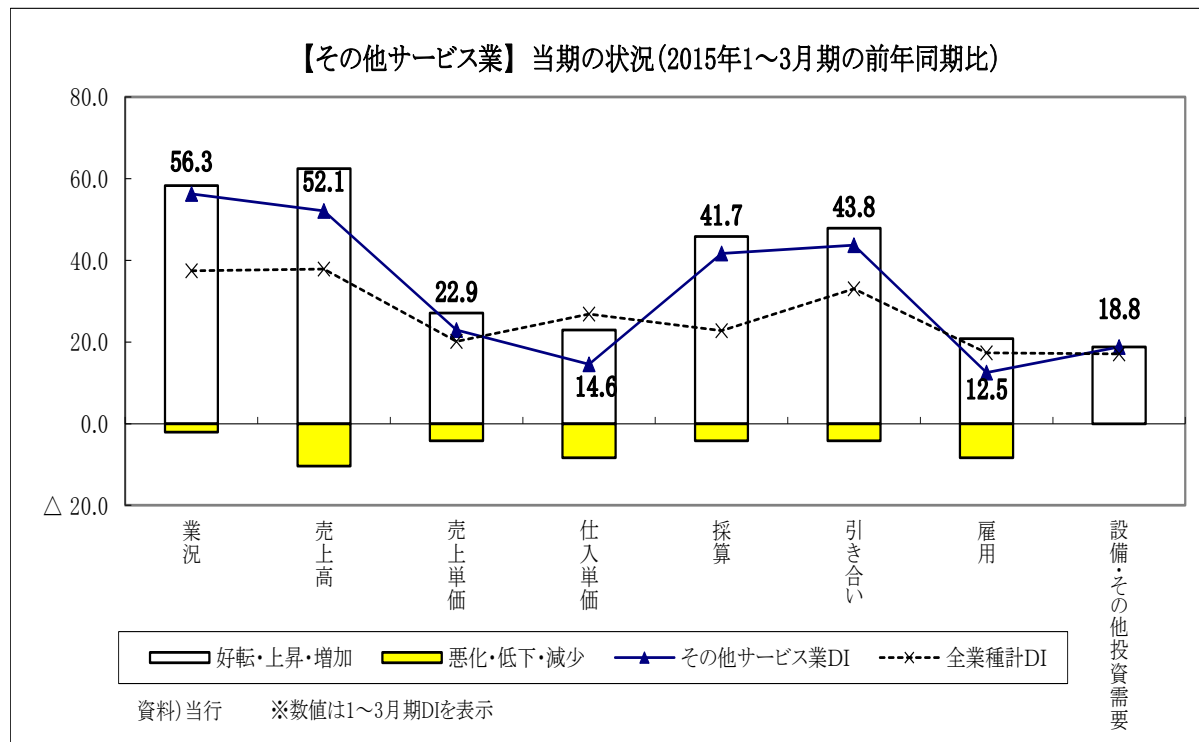
●国内外からの観光需要については旅行代理店、宿泊業、飲食業、ゴルフ場、レンタカー会社、コインパーキング、タクシー業者などで、売上高、引き合い、採算が改善しています。

●外国人観光客(中国、アジア系)の増加については、特にマリンスポーツ(ダイビング、ホエールウォッチング)などで、売上高、引き合いが大きく改善しています。

## 来期

●国内外からの観光需要(GWなど)については冬場より観光客が増加するため、業況改善が見込まれます。

●大型商業施設開店に伴い、一部の事業者では新規取引、新規出店などにより業況改善が見込まれます。

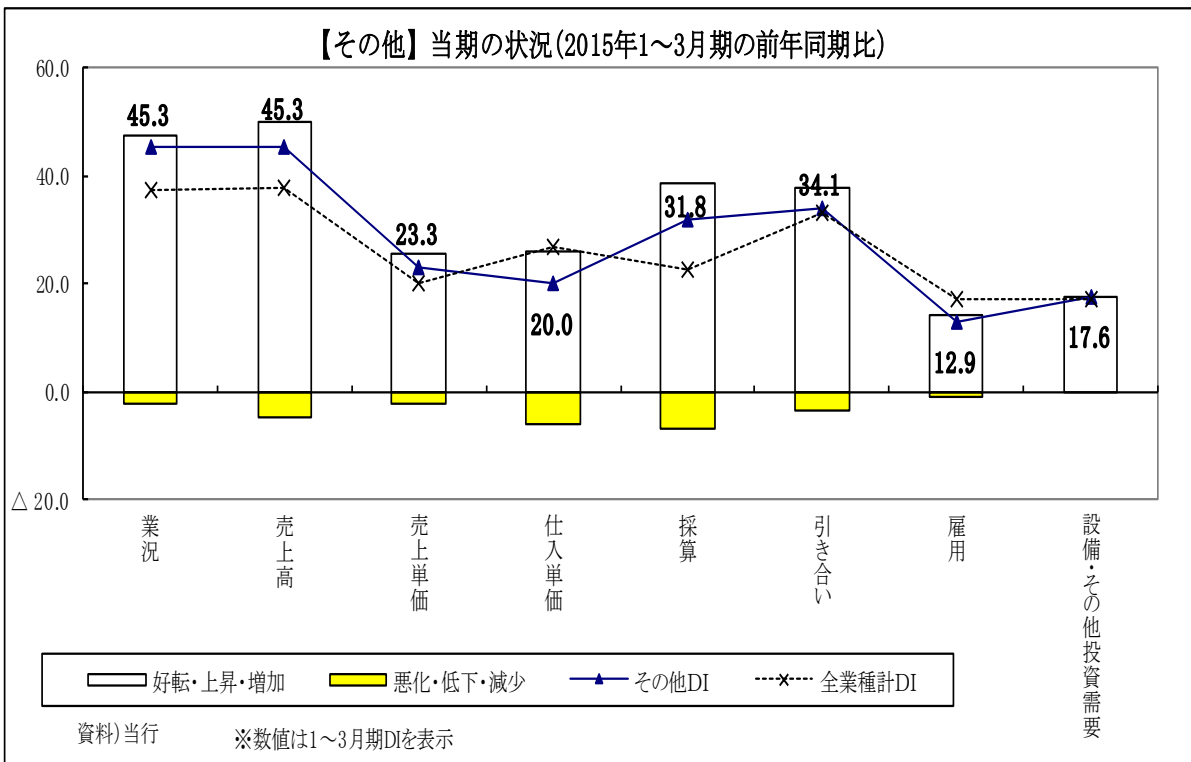




# 【その他(不動産、測量、設計コンサル、運輸等)DIは当期45.3、来期12.8と業況改善の動きがみられます。

## 当期

- 不動産関連業では建築需要や管理戸数の増加などにより、引き合い、採算が改善しています。
- 運輸業では原油安で仕入単価が減少しています。外国人観光客の増加や海外への販路拡大などにより売上高、売上単価の増加がみられます。
- 産業廃棄物処理業などでは、大型商業施設の建設に伴い売上高、引き合い、採算が改善しています。



## 来期

- 不動産関連業では賃貸管理業(引越し需要、県外からの移住者需要)などで引き合い、採算の改善が続く見込みです。
- 運輸業ではGWなどの観光需要により売上高の増加が続く見込みですが、原油価格の動向を注視する声も聞かれます。
- 産業廃棄物処理業などでは、引き続き、売上高、引き合い、採算の改善が見込まれます。

